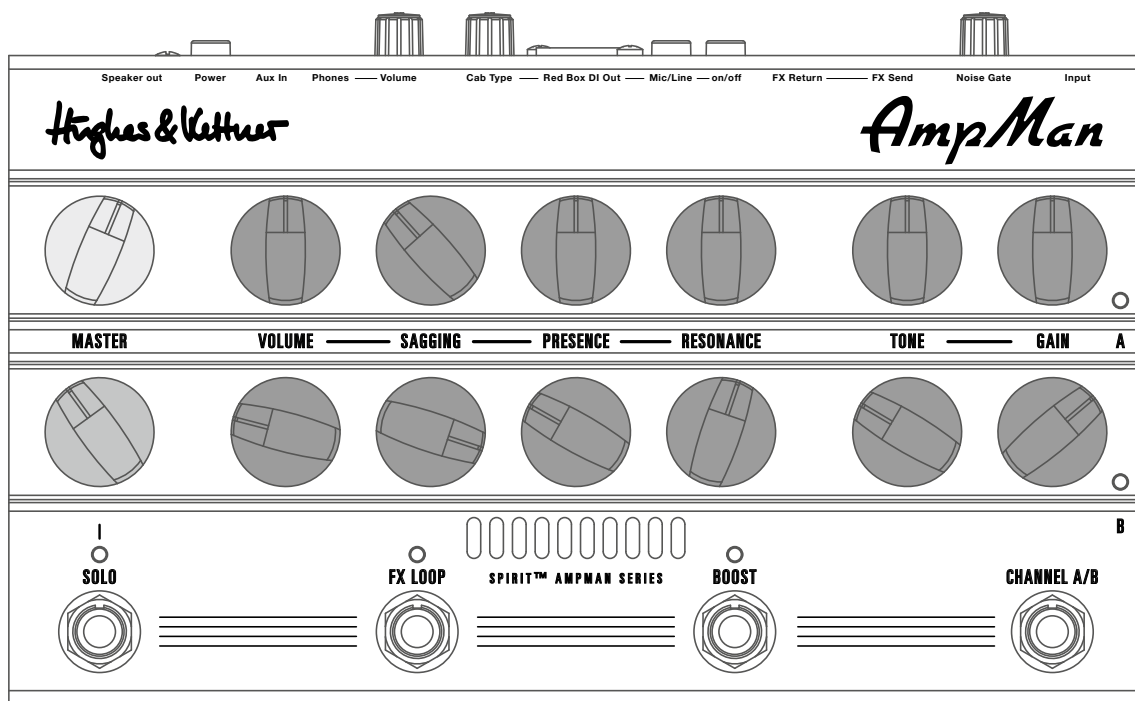




SPIRIT™ AMPMAN SERIES



AmpMan
CLASSIC

AmpMan
MODERN

Manual 1.1

安全上の御注意！



この度は Hughes & Kettner 製品をお買い上げいただき有難うございました。

使用開始前に、安全のため下記の説明を良くお読み下さい。




お読みになった後は、必ず保存しておいて下さい。

ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守って下さい。

本書では危険や損害の程度を次の区分で表示し、説明しています。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

本書で使用する絵表示は、次のような意味です。

	警告	注意を促す内容があることをお知らせするものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。
	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	！	行為を強制したり表示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

！ 製品に記載されているすべての注意書きに従って下さい。
雷が鳴っている時や長期間使用しない時は必ず電源を抜いて下さい。
延長コードをご使用になる場合は必ず容量に見合ったものをご使用下さい。
電源コードや電源アダプターは手荒に扱わないで下さい。定期的に断線していないか、あるいはその兆候がないかチェックして下さい。特に両端のモールの部分に捻れがないか注意して下さい。
電源コードや電源アダプターの上には何も置かないで下さい。通路にはコードがかからないように設置して下さい。

！ キャビネット内の空間、裏面や底面の穴は通気のために設けてあります。穴をふさいで覆ったまま使用しないで下さい。十分な空間がないとオーバーヒートの原因になります。本製品をビルドインで設置する場合は、適切な冷却装置を必ずご使用下さい。
長時間大音量で演奏すると、耳に負担がかかり難聴になる危険があります。やむをえず必要な場合には、耳栓を使用するなどして、自衛手段を講じて下さい。

！ この製品は水気のあるところではご使用にならないで下さい。
この製品を不安定な台車、スタンドまたはテーブルなどの上に置かないで下さい。製品が落下して故障の原因となることがあります。
付属の電源コードや電源アダプター以外でのご使用にならないで下さい。また、製品の裏面に表示してある電圧以外での使用は避けて下さい。

！ 製品の上にドリンクなど置かないで下さい。こぼれて故障や感電の原因になります。
絶対に自分自身でカバーを開けて修理、改造等しないで下さい。製品の内部には高電圧の部分があり大変危険です。必ずお買い上げになった販売店までお問い合わせ下さい。
下記の場合ただちに電源を抜き必ず修理または点検に出して下さい。
＊電源コード、電源アダプターまたはプラグが破損した場合。
＊製品の上に液体がかかった場合。
＊製品に水や雨がかかった場合。
＊説明書通り操作しているにもかかわらず正常に作動しない場合。
＊製品が落下した場合やキャビネットが破損した場合。
＊音質等性能が著しく変化した場合。

！ セーブズを交換する際は、必ず同じ規格の物を使用して下さい。異なった規格の物を使用すると発火や故障の原因となります。
暖房機や電熱器、ストーブ等の熱を発生する機器（アンプも含む）の近くで使用しないで下さい。

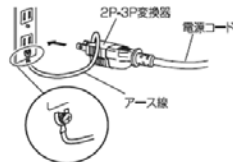
発火や感電を防ぐため、湿度の高いところや雨のあたるところではご使用にならないで下さい。キャビネットの隙間などから異物を入れたりしないで下さい。内部には専門家以外の方で修理できる箇所はございませんので、異常が発生した場合はお買い上げになった販売店にご連絡下さい。

！ 必ずアース接続を行って下さい。
アース接続は必ず、コンセントにプラグを差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ずコンセントからプラグを抜いてから行って下さい。

日本用2Pプラグ



アース端子付きコンセント

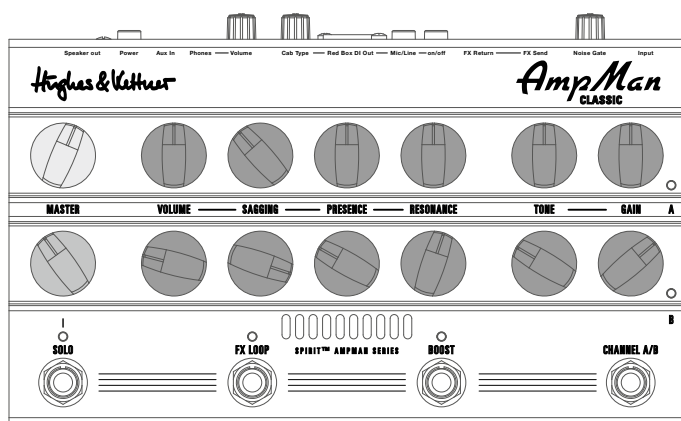


安全のために

- 初めて使用開始前に本説明書および安全上の注意を注意してよく読んでください。
- 不正な操作から発生する本装置または他の装置への損害の場合当方はメーカーとして賠償責任を免責されます。
- 電源に接続する前にPowerスイッチがオフになっており、装置背面に表記されている電圧値が地域の電源電圧と同じであることを確認してください。
- AmpMan (グランドマイスター) の使用開始前必ず注意しておくべきことがあります：とにかくうるさい！音量レベルが極めて高くなると聴力障害の原因になることがあります。
- 大音量で驚くのを防止するため、AmpManと接続された君のギターの音量ポテンショメーターが最低レベルまで回し切られてからアンプをオンにすることを必ず守る習慣にしてください！

SPIRIT™ AMPMAN SERIES

AmpMan CLASSIC



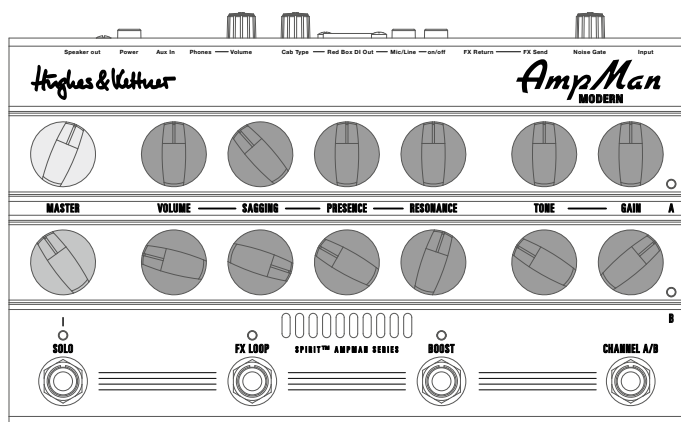
1 概要

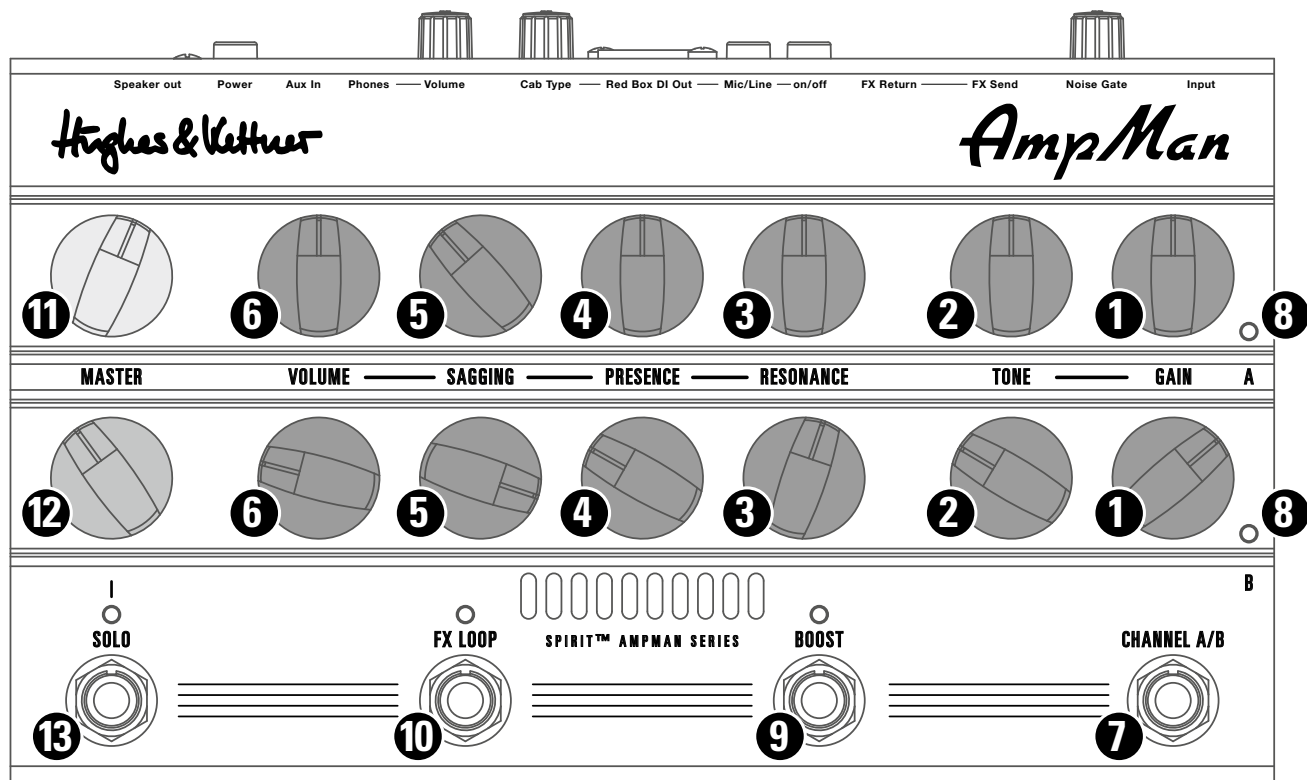
AmpMan ClassicとAmpMan Modernの技術仕様は同じであり、どちらも独立して制御できる2つのチャンネルがあります。Solo-Masterを含むマスター・セクションは、FX LoopとBoostと同様に1回だけ使用でき、両方のチャンネルに適用されます。

注記: AmpManは、BoostとFX Loopの設定がチャンネルごとに保存されるスマート・モード(第3章「スマート・モード」参照)があります。

AmpMan ClassicおよびAmpMan Modernの両モデルで、チャンネルAはカリフォルニア・クリーンからプリティッシュ・クランチまで、ウッドストック・エイジの野性的なサウンドを提供します。チャンネルBは、両モデルで異なる方法でチューニングされています。AmpMan Classicは、80～90年代におけるプリティッシュ・リードからブラウン・サウンドまでのスタジアムロック・エイジのグレートなサウンドを表現します。AmpMan Modernは、すべてのメタルジャンルに対応し、Soloやエッジーなリフを弾くためのHigh Gainサウンドを提供します。

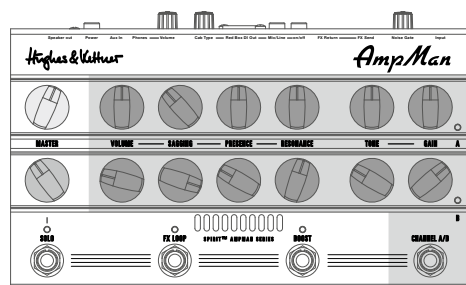
AmpMan MODERN





2 操作要素

2.1 チャンネル・セクション



① GAIN

GAINレギュレーターは入力感度を決定し、これでサチュレーションまたは前ステージの歪曲度が決まってきます。ToneとSaggingとの組み合わせによる、サウンド加工のベンチマーク的ツールです。

② TONE

TONEコントロールのエフェクトは、それぞれのチャンネルに合わせて正確にチューニングされます。Toneレギュレータは、モデルの基本サウンドに特徴的な周波数領域に介入し、極めて幅広いサウンドを提供します。

③ RESONANCEノブ

このRESONANCEノブを12時の位置に設定すると、アンプとキャビネットの組み合わせが生み出す、通常の鳴りが得られます。12の位置から反時計方向に回すと、スピーカーとキャビネットの鳴りが抑えられ、クリーンなトーンがまろやかに響く、ゆったりとした柔らかいサウンドになります。時計方向に回すと、それらの鳴りが強調されて、ディストーション・サウンドに最適な、よりタイトでパンチの効いた低音域が得られます。

④ PRESENCEノブ

アンプから発生する高音域の倍音の量をコントロールします。設定を上げるほど、効果が強調されます。

⑤ SAGGING

SAGGINGは、GAINとTONEと組み合わせることで、新しくフレッシュでエキサイティングなサウンドを生み出すためのツールです。このノブで、任意の音量でパワー・アンプの飽和特性を完全にコントロールできます。SAGGINGは、あなたの音を洗練化し、文字通り、何十年にもわたるギターの音の歴史をあっという間旅することができます。

注意: SAGGINGが増えるほど、パワー・アンプの飽和度が高くなります! GAIN設定に応じて、SAGGINGも全体の音量にある程度影響します。左いっぱい(SAGGINGなし)から中心位置までは、SAGGINGは音量を増大させます。中心位置から右いっぱい(SAGGING最大) までは、音量が下がるため、VOLUMEでの調整が必要となります。

注記: Spirit AmpMan ModernのチャンネルBでは、過剰なSAGGINGは、逆効果になるかもしれません。High Gain Soloを弾く場合、SAGGINGは必要なクリーミネスを生じますが、リフを演奏する場合、SAGGINGでは「キレイでない」サウンドコードが発生しやすくなります。特にLow-tuneや7弦ギターでは、この傾向が強くなります。

⑥ VOLUME

VOLUMEで2つのチャンネルの音量をそれぞれ調整します。

警告: このノブは、アンプ全体の出力レベルの調節には使わないでください。全体のレベル調節は、MASTERノブで!

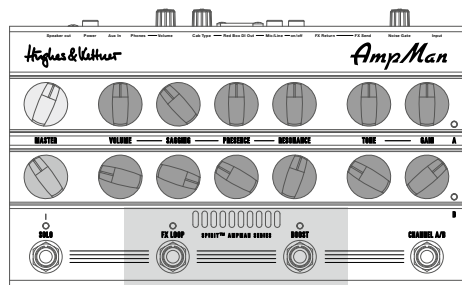
⑦ チャンネルA/B

このボタンで、チャンネルAとBを切り替えることができます。

⑧ Channel LED

各チャンネルのGAINコントロールの右側にある青色LEDは、現在、アクティブになっているチャンネルを示します。

2.2 FX LoopとBoost



⑨ BOOST

BOOSTを使用して、サウンド・スペクトルでの特定の周波数レンジを増幅します。これによってチャンネルごとに、よりシャープ、クリーミー、あるいはパンチの効いたサウンドが得られます。BOOSTがアクティブになると、スイッチ上部のLEDが赤く点灯します。

⑩ FX LOOP

ここで背面シリアル・エフェクト・パスをオンにします。エフェクト・ループをオンにすると、スイッチ上部のLEDが赤く点灯します。

注記:基本設定では、この2つのスイッチはチャンネルとは関係なく機能しますが、スマート・モード・スイッチを使用して、それらをチャンネルに割り当てることもできます。こうすればチャンネルを切り替えるとスイッチも切り替わります(第3章「スマート・モード」を参照)。

2.4 背面

① INPUT

シールドケーブルで、ギターを接続するためのINSTRUMENT入力端子です。

② NOISE GATE

このノブはノイズゲートの感度を調節します。ノイズゲートのIDB™テクノロジーが、標準アタック・パラメーターとスレッシュホールドパラメーターを自動的に調整します。ノブを左に回し切ると、ノイズゲートは完全に信号経路からオフになります(バイパス)。ノブを右に回すほど、ノイズゲートの効果がより高くなります。9時の位置で、ゲートは信号に対してすでに非常に敏感に反応します。ノブを右に回すほど、ノイズゲートの効果がより高くなり、小さな信号がカットされます。

注記:AmpManは、チャンネルごとにノイズゲートの設定を自動的に記憶します。たとえばクリーンサウンド用チャンネルAでノイズゲートを無効にし(左いっぱいまで回す)、リードサウンド用チャンネルBでノイズゲートを有効にすると、チャンネルを切り替えても設定が保持されます。

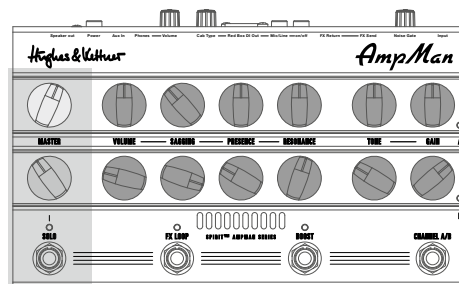
③ FX SEND

このソケットを外付けエフェクターの入力と接続します。

④ FX RETURN

このソケットを外付けエフェクターの (Mono) 出力と接続します。

2.3 マスター・セクション



⑪ MASTER

マスター・コントロール(ページュ)はAmpManの全体的な音量を決定し、両方のチャンネルに影響を与えます。

⑫ SOLO(マスター)

マスター・コントローラーの下にある赤色のノブを使用すると、マスターとの差0~ + 6dBのレベルジャンプを設定できます。SOLOに切り替えるときは、ボタンを押すだけで希望の音量を呼び出すことができます。このコンセプトにより、全体の音量を調整する場合、マスターを調節するだけで、SOLOの音量も自動的に制御されます。

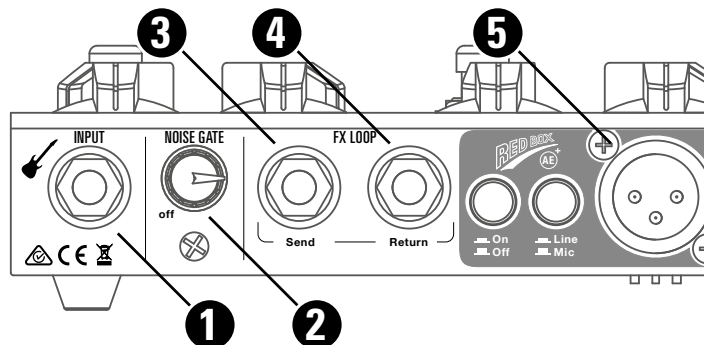
注意:SOLOコントローラーのレベル・ジャンプは、RED BOXとヘッドフォン出力にも伝達されます。ステージでRED BOXを使用する場合は、過剰なミキサー入力を防ぐために、サウンドチェック中に必ずSOLO音量に注意してください。ヘッドフォンを使用するときは、常にSOLOボタンをオンにして最大音量(背面の音量調節)を設定してください!

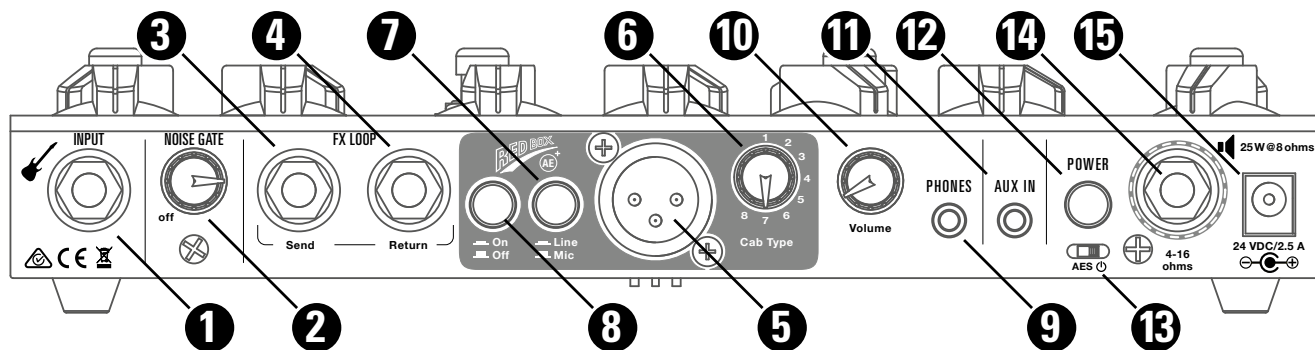
⑬ SOLO

このスイッチで、SOLOコントローラーによってプリセットされているマスターへのレベル・ジャンプをアクティブにします。ボタン上部にある赤色LEDは、Soloがアクティブであることを表示します。

⑤ RED BOX AE+ DI OUT

Hughes & KettnerがオリジナルのRED BOXを1988年に考案して以来、このRED BOXはギター・アンプのサウンドをマイクなしで増幅させるための業界標準になっています。ライブでもスタジオでも、RED BOXは一貫した品質のサウンドをお届けします。他楽器との干渉や、マイキングポジションによる時間のかかる作業は、過去のものになっています。RED BOX AE+は、受賞歴のあるDIボックス付きスピーカー・エミュレーションです。DSP制御のアンビエンス・エミュレーションは、本物のアンビエンス効果とピュアなアナログトーンによるダイレクトなアタックをもたらします。





⑥ Cab Type

このスイッチは、8つのキャビネット・シミュレーションから1つを選択するために使用されます。

No.	キャビネット・タイプ
1	1x12インチのモダンなThieleポート
2	2x12インチのモダンなフロント・ポート
3	2x12インチのヴィンテージ・オープンバック
4	4x10インチのAlnicoオープンバック
5	4x12インチのヴィンテージ・キャビネット
6	4x12インチのプリティッシュ・キャビネット
7	4x12インチのモダンなキャビネット
8	4x12インチのアメリカン・キャビネット

注記: AmpManは、チャンネルごとにキャブタイプの設定を自動的に記憶します。例えば、クリーンサウンド用チャンネルAではダイナミックなオープンバック・ボックスを選択し、チャンネルBでは大型の4x12キャビネットを選択することができます。特にRED BOXを使用する場合、各チャンネルのサウンドをパーフェクトなものにするために、チャンネルごとに異なるキャビネット・シミュレーションを割り当てることができるという大きな利点があります。

注意: ギターボックスをスピーカーアウトに、RED BOXをキャビネットにそれぞれ接続した状態でRED BOXとスピーカーアウトを例えばステージで同時に使用する場合、必ず両方のチャンネルに同じキャブタイプを選択するようにしてください。そうしないとステージのギターボックスがRED BOXの信号と全く違うものになってしまいます。

⑦ RED BOX Mic/Line

RED BOXを適度な音量で使用するよう注意してください。ライブ演奏の場合など長いケーブルを使用する場合、RED BOXの設定を「Line」にして使うようにしてください。こうすると高いアウトプットが長いケーブルによる減衰を補償できます。ミキシングコンソールでマイク入力しかない場合は、RED BOXを「Mic」位置に切り替えてください。ミキシングコンソールまたはオーディオ・インターフェイスにXLR入力がない場合、専門店で購入できるXLR-フォン変換アダプターが必要になります。その際はRED BOXを「Line」位置にセットしてください。

注意: 一部のレコーディング・インターフェイスには、著しい「Hi-Z」入力、ギターとの接続のみを目的とした楽器レベル用のハインピーダンス・ジャックソケットがあります。RED BOXはこのタイプの入力に接続できません。過剰なレベルのために必然的にディストーションが発生します。

⑧ RED BOX On/Off

RED BOXのスピーカー・シミュレーションをオフにすることができます。オフにすると、RED BOXが、お好みのキャビネット/マイク・エミュレーション・ソフトウェアあるいはエフェクターで使用するためのフィルターされていない信号を送信します。

⑨ PHONES

この出力には、市販の3.5mmステレオミニジャックプラグ付きヘッドフォンを接続します。

注意: この出力は、Line信号をハイファイ・システムなどの任意のステレオ・マルチメディア入力に送信するために使用することも可能です。アダプターやケーブルについては、販売店にお尋ねください。この出力を通常のAux Inまたはハイファイ・システムに接続するには、一端にAmpManのヘッドフォン出力を接続するためのステレオ・ジャックプラグ付きケーブル1本と、もう一端にハイファイ・システムの左右入力に接続するためのシンチプラグが2本必要です。

ミキシングコンソールに接続するには、シンチプラグの代わりに2ホンのモノラル・ジャックプラグまたはXLRプラグが必要です。その際、AUX IN使用時のステレオ再生を引き立たせるために、ミキシングコンソール入力をパノラマの左/右にしっかり位置付けるよう注意してください。

注意: Black SpiritやSpirit Nanoシリーズとは異なり、フォンジャックにプラグが差し込まれていると、スピーカーアウトはミュートされません！これには、ギターボックスを同時接続したRED BOXの固定レベルの代わりに、ヘッドフォン出力をアジャスタブル・ライン出力として利用できるという利点があります。さらにマスター・コントローラーを使用して出力ステージを「ミュート」できます。また、マスターをターンアップしたとき、ギターボックスを接続しなくても、AmpManを問題なく使用できます。

⑩ フォーンの音量

ここでヘッドフォン出力の音量を調整します。

⑪ AUX IN

あらゆる音源をAUX INPUTに接続できます。音源はギター・サウンドにミキシングされます。同様に、AUX IN INPUTからドラム・マシンやその他の楽器を接続することも可能です。Aux In信号は、フルステレオ・クオリティでヘッドフォン出力に伝送されます。したがって、ミキサーを追加しなくても、ジャムトラックと一緒に演奏できます。

⑫ POWER

このボタンを使用して、AmpManのオンとオフを切り替えます。

⑬ AES

欧州司令1275/2008/ECに従い、AmpManも同司令によると対象となるデバイスは、デバイスを一定時間使用しないと自動的に電源が切れる省エネ設備を搭載する必要があります。この課題をAmpManではAESが解決しています。これはスピーカーソケットの横にあるミニスイッチによりオン/オフできるようになっています。

納入時、AESはアクティブになっており、ミニスイッチはオン位置(右)にあります。この設定では、約90分間、休止状態が続くと、アンプは自動的に電源が切れます。ショートトーンを演奏するなどアンプが入力信号を受け取ると、休止状態はリセットされまたゼロから開始します。弱い信号でもリセットされ、アンプ電源断までの90分間がゼロから開始します。90分間の休止時間が経過してアンプがオフになった時は、電源スイッチを使ってリスタートさせることができます。ミニスイッチを左にスライドさせると、AESがオフになり、アンプの自動停止が無効になります。

14 SPEAKER

スピーカー出力部は、インピーダンスが4 または16 Ωのボックススピーカー用です。あらゆるタイプのギター用スピーカーを接続でき、パワー・アンプには4x12のスピーカーを駆動するのに十分なパワーを備えています。フルスタック構造も可能。

注意事項: 2つのボックススピーカーを接続するときは並列接続で合計インピーダンスが4 Ωに半減するので各ボックスのインピーダンスは少なくとも8 Ωとします。

推奨ギター用スピーカーボックスHughes & KettnerのTS 112 Pro.、TM 112、TM 212はそれぞれインピーダンスが16 Ωで、同種のボックスをもう一つ接続できる並列アウトプットがあります。

15 VDC

AmpManには、広域対応電源アダプターが内蔵されており、世界中どここの電圧にも対応し、サウンド品質が常時一定に提供されます。必ず純正電源アダプタ。

注意: 必ず最初に電源をAmpManに接続してから、コンセントに接続するようにしてください。

3 つのスマート・モード

AmpManには、BOOSTとFX LOOPの設定がチャンネルごとに保存されるスマート・モードがあります。これは、たとえば、BOOSTとFX LOOPがチャンネルBでオンになり、チャンネルAでオフになっている場合、チャンネルを変更しても設定が保持されることを意味します。ボタンを1回押すだけで、BOOSTとアクティブなFX LOOPを含め、チャンネルAのドライヴサウンドからチャンネルBのSOLOサウンドに切り替えることができます。納入時、スマート・モードはオンになっていません。

オン/オフ

2つの外部スイッチSOLOとチャンネル A/ Bを同時に押して、3秒間押し続けると、AmpManはスマート・モードに切り替わります。チャンネルLEDが点滅して確認できます。この設定は、AmpManの電源を切った後も保持されます。同様にスマート・モードもオフになります。

注記: スマート・モードがアクティブであるかどうかは表示されません。スマート・モードがアクティブかどうかを確認する場合は、BOOSTをチャンネルAでオフにし、チャンネルBではアクティブにします。チャンネルAに切り替えたとときにBOOSTがアクティブのままである場合、AmpManはスマート・モードになっています。

4 テクニカル・データ

Spirit AmpMan Series

最大消費電力	50 W
DC入力	+24 V / 2.5 A 極性 + = センター
外部電源	100 – 240 V, 50 – 60 Hz
主電源電圧許容範囲	+/-10 %
稼働時周囲温度範囲	0°~+ 35°C
INPUT端子	6.3mm(1/4インチ)アンバランス、1MΩ
入力感度 (CLEANチャンネル、全てのノブは中央位置、MASTER最大)	-13 dBV
最大レベル	0 dBV
FX SEND端子	6.3mm(1/4インチ)アンバランス、220Ω
定格出力 (CLEANチャンネル、全てのノブは中央位置、TONEレギュレータ最小)	-6 dBV
最大レベル	+10 dBV
FX RETURN端子	6.3mm(1/4インチ)アンバランス、20kΩ
入力感度: (CLEANチャンネル、全てのノブは中央位置、MASTER最大)	-6 dBV
最大レベル	+9 dBV
外部入力 - ミニ・ジャックソケット	3.5mm、ステレオ、10kΩ
感度	-6 dBV
最大レベル	+26 dBV
PHONESのジャックソケット	6.3mm (1/4インチ)、ステレオ、50Ω
公称レベル (CLEAN、BOOSTなし、全てのノブは中央位置、TONEレギュレータ最小、MASTER最大、PHONE音量70%)	-6 dBV
最大レベル (CLEAN、BOOSTなし、全てのノブは中央位置、TONEレギュレータ最小、MASTER最大、PHONE音量100%)	0 dBV
最大レベル	+11 dBV
RED BOX AE+ OUT端子	XLRバランス、Line: 400 Ω, Mic: 600 Ω
定格出力 (CLEANチャンネル、全てのノブは中央位置、TONEレギュレータ最小)	Line -6 dBV, Mic -26 dBV
最大レベル	Line +6 dBV, Mic -14 dBV
スピーカー - 1/4インチジャック	6.3 mm(1/4インチ)、ブリッジモード、4~16Ω
出力電力 @ 16 Ohm	13 W
出力電力 @ 8 Ohm	25 W
出力電力 @ 4 Ohm	48 W
アンプ寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	250 x 52 x 153 mm
アンプ重量	1150 g
電源アダプタ寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	129 x 32 x 52 mm
電源アダプタ重量	280 g

上述の全ての商標および著作権は、それぞれの所有者に帰属します。



Hughes & Kettner
Postfach 1509
66595 St. Wendel
Germany
Tel: +49 (0) 68 51 - 905 0
Fax: +49 (0) 68 51 - 905 103

International Inquiries:
Fax: +49 - 68 51 - 905 200
hkinternational@hughes-and-kettner.com

www.hughes-and-kettner.com



facebook.com/hughesandkettner

Copyright 10/2020 by Music & Sales GmbH.
Subject to change without notice.